

三条教区通信

第 60 号

発行日 2012年6月1日
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 URL: <http://www.gobosama.net>
 ★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

によらい
ただ如来に

まかせまいらせ

おわしますべく候うそうろ

『末燈鈔』真宗聖典 605 頁

東日本大震災三条教区災害救援金

皆様にご協力いただいております三条教区独自の
 救援金は、2012年5月31日現在、総額 12,438,784
 円となりました。

これまでの救援金寄託状況は以下のとおりです。

2,000,000 円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000 円 仙台教区 2012年4月13日

ご報告いたしますとともに、ご協力の御礼を申し上げます。

教化委員会からのお知らせ

■春季声明講習会報告

去る5月10日(木)、三条教区同朋会館にて「春季
 声明講習会」が開催された。講師に藤澤善夫氏(堂
 衆)をお招きし、前回に引き続き「普通寺院における
 報恩講の勤め方」についてご教示いただき、教区内
 僧侶 32 名の受講があった。

日中法要を中心とした報恩講における荘厳作法、
 声明作法の他、御文の拝読作法や齎作法等、実技

指導もいただき、大変貴重な内容の講習会となった。
 三条教務所 五辻広大



藤澤善夫氏(右) 於別院本堂

■仏青声明講習会報告

去る5月24日(木)、三条別院本堂・旧御堂にて「仏
 青声明講習会」が開催された。講師に第21組勝樂寺
 住職の安藤栄寿氏をお招きし、「内陣出退作法の心
 得」についてご教示いただき、仏青スタッフ6名の受講
 があった。

当部門では、今年度、連続講座として「KANGYO
 primary school～1から学ぶ王舎城～」を開催してきた
 ことを踏まえ、観経和讃にてお勤めする「仏青報恩
 講」を6月25日に開催予定。その事前習礼として、開
 催した今回の講習会では、普段お勤めすることのな
 い観経和讃に加え、別院本堂での正しい内陣出退作



安藤栄寿氏(左) 於別院内陣

法の実践講習をいただき、仏青報恩講の厳修に向け、実のある講習会となった。

三条教務所 五辻広大

三条別院で御坊市を^{ごぼういち}開催!

今年度の別院フォーラムは「御坊市」として、別院本堂および旧御堂にて雑貨店や飲食店40店舗が出店します。また、お坊さん企画として「念珠を作ろう」ワークショップ、「僧職男子になんでも相談」、井上雄彦氏が描く屏風「親鸞」の関連グッズ販売を行います。開催日は6月16日(土)～17日(日)両日とも10時から16時。皆様のご参加お待ちしております。

また、6月7日(木)18:10、NHK 新潟放送局で、インタビューの様子が生放送される予定です。

研修会のご案内

■ カルト問題学習会(住職研修会) 開催案内再送

- ◆日時 2012年6月14日(木)
- ◆会場 三条教区同朋会館
- ◆講師 四衢亮氏(青少幼年センター幹事
高山教区不遠寺住職)
- ◆対象 教区内住職、教会主管者、代務者
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀・森)まで。

■ 御坊市(別院フォーラム 2012) 開催案内同封

- ◆日時 2012年6月16日(土)～17日(日)
- ◆会場 三条別院 本堂・旧御堂
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 第33回新潟地区推進員研修会 開催案内既送

- ◆日時 2012年6月18日(月)
- ◆会場 第22組善良寺
- ◆講師 今泉温資氏(往生人舎主宰)
- ◆講義 「今現在説法—いま現にましまして法を説きたもう」
- ◆参加費 1,500円(昼食代込み)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 新任教師研修会 開催案内再送

- ◆日時 2012年6月19日(火)～20日(水)
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
- ◆対象 大谷派教師資格取得後5年以内の方
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀・森)まで。

■ 仏青報恩講 開催案内同封

- ◆日時 2012年6月25日(月)14:30～
- ◆会場 三条別院 本堂
- ◆内容 観経和讃でのお勤め、座談

- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 全戦争犠牲者追弔法会 開催案内同封

- ◆日時 2012年7月7日(土)14:30～
- ◆会場 三条別院 本堂、同朋会館研修室
- ◆内容 法要、映像上映
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 第50回児童夏の集い 開催案内既送

- ◆日時 2012年8月20日(月)～22日(水)
- ◆会場 粟島
- ◆テーマ 友達の輪
- ◆対象 小学3年生～中学3年生
- ◆参加費 10,000円
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

教務所からのお知らせ

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

- 講師 4/23～6/3 榊 法存氏(山形教区)
- 6/4～7/15 四衢 亮氏(高山教区)
- 7/16～8/26 渡邊 学氏(三条教区)
- (変更になる場合があります)

- 放送局 BSN新潟放送
- *新潟県全域をカバー
- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz
- 時間 毎週金曜日午前5:00～5:10
- 提供 吉運堂 様

◎教区行事予定表

2012年	
6/1(金)	長岡地区坊守研修会
6/2(土)9:00	保育大会 保育新任研修会
6/4(月)14:00	児連・仏青・青少年研修会部門会議
6/5(火)14:00	「差別と真宗」共学研修会スタッフ会議 推進員執行部会議
6/6(水)14:00	同朋の会教導連絡協議会代表者会
6/8(金)14:00	企画委員会
6/11(月)14:00	研修部会
6/12(火)14:00	同朋の会教導連絡協議会全体会議
6/13(水)14:00	教区会参事会懇談会
6/14(木)13:00	カルト問題学習会(住職研修会)
6/15(金)13:30	女性研修スタッフ学習会
15:00	真宗学院指導会議
6/16(土)	～17日 別院フォーラム 御坊市

6/18(月)	新潟地区推進員研修会
6/19(火)	～20日 新任教師研修会
6/20(水)	～21日 東北連区坊守研修会(山形)
8/20(月)	～22 第50回児童夏の集い
6/22(金)14:00	教区災害対策委員会 教区会参事会 教区門徒会常任委員会
6/25(月)14:30	仏青報恩講
6/27(水)14:00	同朋会運動推進部会スタッフ会議
6/29(金)14:00	教区教化委員会総会
7/7(土)14:30	全戦争犠牲者追弔法会
7/11(水)14:00	教区監査
7/12(木)14:00	真宗学院運営委員会
7/13(金)14:00	教区御依頼適正審議会
7/20(金)10:00 14:00	教区門徒会常任委員会 教区会参事会
7/24(火)13:00 14:30	教区会特別委員会 教区会決算委員会
7/25(水)14:00	教区会予算委員会
7/26(木)14:00	別院責任役員会
7/27(金)13:30	教区会
7/30(月)10:00	教区門徒会
8/3(金)10:00	別院院議会
8/8(水)13:30	正副組長会
8/11(土)	～15日(水) 教務所夏期事務休暇
8/20(月)	～22日 第50回児童夏の集い
9/4(火)	大谷大学同窓会(三条支部)

* 行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

「古寺名刹こころの百景」東本願寺の放送

6月5日(火)、BSフジの「古寺名刹こころの百景」で東本願寺について放送されます。55分という長さの番組であり、信仰の歩み、東西分派や両堂再建の歴史、至宝、宗祖の教えに生きる現代の人々の姿などが紹介される番組です。

詳細は以下のとおりです。是非ご覧ください。

- 1 番組名称 「古寺名刹こころの百景」
- 2 番組内容 日本に7万6千以上存在するという「寺院」。観光・霊園・祈祷など、訪れる人それぞれに様々な理由や思いやがあるものの、みな寺を出るときには、心に“穏やかな和”を携えている。そんな“日本のこころ”が息づく名刹を、美しい映像と音楽に乗せてじっくりとご紹介する旅。全12回のシリーズで京都、奈良、東京などの全国12の名寺をめぐる。

今回ご紹介するのは、浄土真宗開祖・親鸞の教えを受け継ぐ門徒、同朋らによって建立された壮大なお堂・東本願寺。現在修復中ではあるが、中心にそびえ

立ち本尊・阿弥陀如来を安置する本堂・阿弥陀堂、建築面積において世界最大を誇る木造建築・御影堂をはじめ、2万8200坪の境内に広がる歴史的な建造物を、親鸞の教えと90年の人生とともに見ていく(番組ホームページより)。

3 放送概要

(1)放送局: BSフジ

(2)放送時間: 2012年6月5日(火)
18時～18時55分

(3)再放送: BSフジにて初回放送から3年以上上限10回まで再放送あり。

4 番組ホームページ

<http://www.bsfuji.tv/top/pub/kojimeisatsu.html>

所員のつぶやき ～小山恵子～

▼東日本大震災当日からはや一年と数カ月、自然災害だけなら全国からの支援を受けて日々急速なピッチで復興に向かうはず。ところが、日を追うごとに調査や追及で隠されていた事実が露呈し、直後より更に闇の中へと引きずりこまれる。現地の方々は尚更にやり切れぬ思いの中で、生活していられると思うと、切なくなる▼今年のはじめての感動は「現代学生百人一首」(東洋大学主催)。今回は震災を詠む歌が数多く寄せられた。将来を担う学生が震災の現実と真剣に向き合い、その悲惨さを受け止めて、ともに乗り越えるという前向きな姿勢が見えて頼もしい。

故郷(ふるさと)を全(すべ)て飲み込む黒津波
祖父の叫びはがれきと流れた 岩手高三
顔知らぬ名前も知らぬ人達に
生きてほしいと願った三月 山形高二
スーパーの棚から商品奪い取る
人々の目は被災者を見ず 埼玉高二

(東洋大学ホームページより三首抜粋)

▼もしや苦境の時のほうが、人のおもいやりや言葉が乾いたハートにしみ込んでくる。そして、「幸せとは何だろう」と自問自答する。あたり前の日常。それは、ささやかな人間の営みのなかにある。あたり前の日常を維持する為に、人は日々無意識に努力していると思う▼「悲観主義は感情で、楽観主義は意志の力による。幸せだから笑うのではない、笑うから幸せなのだ。」(アラン著 幸福論)コツコツと笑う努力を続けてきた人が、あたり前の日常を過ごす環境を、一瞬にして奪われる。今更ながら、生きるということは、苦しいこと。今の心境は、歌が読めぬので歌人の引用にてあしからず。

世の中は(むな)しきものと知る時し

いよよますます悲しかりけり 大伴旅人 詠む

▼時々耳にする東北の人達の言葉は、現状を他人のせいにはせず、現実を受け入れて、支援のお礼まで伝えていた。苦境に在っても生きる勇気がみなぎっている。苦しみや悲しみを避けようとせず、それらを引き受けて、それらと付き合いしていく。そういうしのご方ができれば、すばらしい。苦しい時だけが永遠に続くわけではない。東北をはじめ日本に少しでも早くあたり前の日常が戻るよう、日々できる小さな努力を重ねたい。

新潟親鸞学会からのお知らせ

●特別展「親鸞となむの大地」準備会が発足

4月26日(木)16:30 新潟超願寺で新潟親鸞学会・県立歴史博物館・新潟日報社の3団体間で特別展「親鸞となむの大地」準備会設立の協約締結が行われました。学会側は廣澤副会長ほか7名、歴博側は中島館長以下4名、新潟日报社側は高橋正秀広告事業副本部長以下5名が出席し、協約書3通に押印のうえ各団体が1通ずつ保有して、準備会がスタートしました。

また、委員長には日报社の高橋道映社長が選出され、事務局は長岡の県立歴史博物館内に置くことになりました。この会は明年予定している「親鸞となむの大地」実行委員会結成までの準備会ではありますが、いよいよ対外的な準備が始まったと言ってよいでしょう。

●国宝・重文の陳列も

2014年(平成26年)4月26日～6月8日に長岡の県立歴史博物館で開催予定の特別展「親鸞となむの大地」。その内容を検討している展示史料調査委員会(里村専精学会会長・矢田俊文新潟大学教授の両氏監修)が精力的に展示物の調査を重ねています。県内を主とする国宝・重文を含む100点以上の法宝物を紹介したいと、膨大なリストアップが行われ、5月21日の第9回会議では、会場の展示レイアウトにまで話が及びました。

これからが法宝物の借用交渉となります。収蔵元の各位には展覧会の趣旨を是非ご理解賜り、ご協力をお願い申し上げます。ちなみに重文「熊皮の御影」は先日、前嶋学芸員が国立奈良博物館へ足を運び、内諾をいただきました。

●新潟県も観光面から期待

特別展とそのプレサビイベントには宗門・教団はもとより、県や市町村の理解と協力も得たいと思っています。5月18日(金)15:00に富沢本部事務局長ほか2名が新潟県庁へ出向き、渋武新潟県観光局長も同席して、大野裕夫副知事を表敬訪問しました。副知

事からは、宗教絡みとはいえ、展覧会や越後七不思議巡拝など、県外からの誘客も期待できると歓迎されました。

そして、近く県側が旅行エージェントに声をかけて説明会をもつこと。県教育委員会にも情報を伝える等の協力をしてくれることになりました。思いのほか好意的な対応で安堵しました。

とはいえ、県議会という関門を通過するまでは安心できません。政教分離を盾にした反対意見が出るのが考えられますので。

以上、今号は「親鸞となむの大地」展の経過報告でした。記事へのお尋ね、ご意見は下記事務局へお願いいたします。

新潟親鸞学会事務局 富沢慶栄

【親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
Eメール choganji@nifty.com
新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏青有志会ボランティア

いつもご協力ありがとうございます。

GWに岩手県八幡平で行われました、東北三教区主催の「東北子どもつどい」に三条教区から参加したスタッフのかたの感想をいただきました。



三条からは男性2名、女性2名の計4名のみなさんが応援スタッフとして参加してくださいました。

参加されたみなさんごくろうさまでした。

以下参加されたスタッフの感想になります。

5月3日～5日、岩手県八幡平市で開催された「東北三教区子どもつどい」に参加して来ました。東日本大震災時に起きた福島第一原発の爆発事故と放射性物質拡散による多大な被害は、混乱と恐怖の事故当初から変わる事なく今も尚その影響を深刻にし

続けている現在進行形の被害です。そしてその一番の犠牲者は現在と未来の子どもたちと若い世代です。



放射性物質の除去と、その不安や怯えを根本的に解決する道は未だ見つかっていません。

しかし、同じ大空の下、同じ大地の上で苦悩し、苦悶し、苦闘するその人たちを「私の生活とは直接関係ないみたいだし」と忘れ、見捨てる事も到底できる事ではありません。

とにかく一時でもいいから、マスクをしないうでいっばいに吸える空気を、触ってもいい土や草を、事故の前には当たり前だった事に少しでも浸ってもらって、子どもたちや保護者の人たちに気分を変えて、一瞬でもいいから、何気ないけど思いっきりの笑顔が取り戻せたら、それが未来へ、希望へつながるのだと信じて開催された3日間でした(もちろん三教区の中心スタッフ等は何ヶ月も前から準備して…)地元三教区のスタッフはもとより全国から、九州や北海道からも教区や個人も含め有志ボランティアスタッフが本当に大勢駆けつけて、様々な炊き出しやイベントレクリエーションを企画協力し、まるでお祭りさながらの光景でした。



子どもたちの笑顔や笑い声があふれ、いつまでもこの時間が続いたらと思わされる3日間でした。

反面、夜の交流会では保護者の方々の辛く、苦しく、悩ましい胸のうちを聞かせてもらいながら、それでも踏ん張って生きている力強さに、できる事からでいい、つながり続けていきたいとあらためて感じました。



連休の渋滞や九時間の道のりは疲れも残りましたが、それでも三条から参加した4人は、確かに大切な何かを、総勢300人にもなる参加者、スタッフと共に胸に刻んで来たと思います。

最終日前日の夜、スタッフが熱唱した福山雅治の歌から詩を一部抜粋します。

失敗とか後悔から「覚悟すること」を学んだ
逃げられない苦しみに悲しみに勝つために
そうだ僕は僕だけで出来てるわけじゃない
100年 1000年前の遺伝子に誉めてもらえるように
いまを生きる

…この命で いまを生きてる…今日も生きてく



三条仏青有志会としては、引き続き等身大の様々な支援活動が続けていきます。教区の皆様には今後ともご協力頂きます様お願いします。

【三条仏青有志会】

連絡係 藤井信彰(14組長楽寺) shinsho@nct9.ne.jp

